

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立長吉小	学校	児童数	78
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.00	19.50	35.61	37.36	46.43	9.73	149.23	22.83	51.94
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.38	17.03	33.56	34.88	36.38	10.15	138.93	12.86	50.06
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

大阪市や全国の平均と比べると、男子は4つの項目で上回っており、体力合計点は大阪市を上回った。ソフトボール投げに関しては、全国と比較しても2m以上であった。女子においては、すべての項目で下回っており、特に、長座体前屈と立ち幅跳びに関しては、全国との差が大きく、課題がみられる。

アンケートの、「運動やスポーツをすることは好きですか」という項目において、肯定的な回答をしている児童は、男子は全国や大阪市よりも高い値となっているが、女子は低い。これは、体力合計点の値と比例している。

また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が14.3%、女子が19.5%であり、大阪市や全国よりも高い値を示している。男女ともに、420分以上運動している児童の割合も高いことから、運動をよくする児童とほとんどしない児童の2極化しているといえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校はこれまで、男女ともに大阪市や全国を下回る結果が多かった。運営に関する計画に具体的な取組として掲げ、「かかと上げ下げ運動」や「サーキットトレーニング」などを行ってきた結果、昨年度と今年度の男子において、全国や大阪市を上回る結果が続いた。また、4年生時から体育の時間にシナブソロジーを取り入れた運動を行ってきた事も、結果の向上につながっていると考えられる。

体育の授業以外にも、運動委員会によるドッジボール大会やランニングタイム・PK大会、集会委員会によるいろいろな種類の鬼ごっこ・縄跳び、休み時間のみんな遊びなど、友だちと体を動かす機会を多く設けてきたことで、「運動やスポーツが好き」と回答する児童が多くなった。

次年度からは、女子の体力・運動能力の向上につながる取組の模索に加え、体育の時間の充実を図り、生涯にわたって積極的に体を動かし健康に暮らそうとする態度を育てていく。